

◆鳥栖工高10位、白石高校22位に終わる

師走の京都を走る年中行事として知られる「全国高等学校駅伝競走大会」が京都・西京極陸上競技場を発着基点に男・女全国 47 都道府県代表高校チームが、男子7区間 42.195kmと女子5区間 21.0975kmのコースでタスキを繋ぐ激走を展開しました。今年も昨年に続きコロナ禍により西京極陸上競技場は無観客開催(出場高校関係者のみ入場可)となりました。

佐賀県代表女子の白石高校は3年連続9回目、男子の鳥栖工業高校は12年連続46回目出場の伝統校。両校共に県予選大会では2位以下に大きく差をつけての代表権奪取を成し遂げて、今年も昨年を上回る好記録を期待しての大会となりました。

大会の結果は、女子の優勝は宮城県の仙台育英高校で総合タイム1時間7分16秒でした。白石高校は1時間12分2秒と昨年の記録は更新出来なかったものの昨年の23ら22位に順位を上げてのゴール。男子優勝は2年連続、広島県の世羅高校が総合タイム2時間1分21秒の大会史上2番目の好記録での優勝でした。鳥栖工高は昨年の22位から10位に大きく順位を上げる大躍進。記録は昨年の記録を54秒短縮する2時間5分7秒の好記録でゴールすることが出来ました。

今年は両校そろって好成績を残す嬉しい大会となりました。テレビ等で応援頂いた佐賀県出身の皆様ありがとうございました。

(広報部会:於保記)

